

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	日本国憲法（生きた憲法の理論と実践）					学期	曜日	校時
英語名	The Constitution of Japan (Theory and Practice of Our Living Constitution)							
担当 教員名	新井 信之	単位数	2 単位	必修 選択	選 択	前期	水曜日	1 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>本講義は、私たちが直面する社会問題の解決のために、生きた憲法の理論と実践について考える。最近の憲法問題を素材としてさまざまな角度からその検討を試み、私たちの日常生活と憲法とのかかわりについて理解を深めていく。また、授業の一環として裁判所見学を実施し、公開法廷の傍聴をおこなう予定でいる。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>テキスト・・・畑・阪本編『憲法フォーラム（第二版）』（有信堂、2005年） 参考文献・・・畑博行編『現代法学入門』（有信堂、2000年）</p>								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室		
全 学 部	定期試験（60%）レポートと出席状況（40%）、授業態度等を総合的に評価する。							
授 業 計 画								
<ol style="list-style-type: none"> 1．近代立憲主義憲法の基本理念 法の支配／人権／権力分立／硬性憲法 2．日本国憲法制定の歴史的背景 押付け（？）憲法論／民主憲法の継受／日本国憲法の1952年誕生論 3．国民主権と民主的な統治システム 主権の概念／代表民主制／議院内閣制と違憲立法審査権 4．象徴としての天皇の地位 天皇制と民主主義／女性は天皇になれるか 5．戦争放棄と平和・国際協調主義 日本国憲法の平和思想／周辺事態法／テロ防止特別措置法 6．生命の権利・自由 胎児の人権／死ぬ権利／人工生殖の権利とその限界 7．子どもの発達の権利と最善の利益 家族的生活の保護／教育を受ける権利／少年司法と更生保護を受ける権利 8．パーソナルメディア時代の表現・言論の自由 表現の自由の優越的地位／知る権利／メディアリテラシー 9．男女共同参画社会と法の下での平等 平等の概念／男女雇用機会均等法／セクハラ／夫婦別姓 10．高齢者の人権 三つの自由について 国家からの自由（生命）／国家による自由（福祉）／国家への自由（政治参加） 11．公開討論会と政治活動の自由 選挙活動のルール／公開討論会の意義／市民運動とボランティア 12．地方分権と住民投票 地方自治の本旨／国民主権と直接民主制／参加民主主義 13．司法制度改革と裁判所 公開裁判の原則／裁判手続き／裁判員制度 質問等受付時間は授業終了後受け付ける。 								